

製品名: TIA1 (2C12) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe18915**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.21mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:500-1:2000,ICC/IF 1:500-1:1000,FC 1:200-1:500,IP 1:20-1:50
分子量	43kDa

抗原情報

遺伝子名	TIA1
別名	Nucleolysin TIA 1 isoform p40; p40 TIA 1; TIA1 protein; TIAL1; TIAR;
遺伝子 ID	7072.0
SwissProt ID	P31483
免疫原	ヒト TIA1 の合成ペプチド

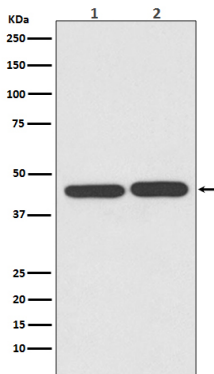
背景

mRNA の 3'非翻訳領域 (3' UTR) に存在する AU リッチエレメント (ARE) に結合し、選択的プレ RNA スプライシングおよび mRNA 翻訳の調節に関与する。細胞傷害性リンパ球標的細胞に対する核酸分解活性を有する。アポトーシスに関与する可能性がある。mRNA の 3'非翻訳領域 (3' UTR) に存在する AU リッチエレメント (ARE) に結合し、選択的プレ RNA スプライシングおよび mRNA 翻訳の調節に関与する。細胞傷害性リンパ球標的細胞に対する核酸分解活性を有する。アポトーシスに関与する可能性がある。

研究分野

アポトーシス

画像データ



(1) Jurkat 細胞溶解物、(2) NIH/3T3 細胞溶解物における TIA1 発現のウエスタンブロット解析。